

# 施設概要

(令和8年3月31日現在)

施設名 <b>桜台公民館</b> (桜台センター内)		開館時間 窓口 午前8時半～午後9時 公民館 午前9時～午後9時 児童館 午前9時～午後5時 図書室 午前9時(閲覧)～ 午前9時半(貸出)～午後5時		
所在地	〒270-1412	併設施設	児童館・図書室・桜台小学校区地区社協	
	白井市桜台2-14			
TEL	047-491-7111	FAX	047-404-7555	
メール	<a href="mailto:sakuradai@shiroi-com10.com">sakuradai@shiroi-com10.com</a>			
休館日	月曜日・国民の休日 12月29日～翌年1月3日	駐車場	22台(障がい者用スペース含む)	
職員構成	センター長1人・公民館4人・児童館4人・図書室3人・夜間2人			
貸出施設	1時間あたりの施設利用料(社会教育認定団体は2分の1)			
	施設名	定員	9:00～21:00 付帯設備	
	研修室	40人	440円	ホワイトボード・机・椅子
	作法室	38人	440円	水屋・炉・座卓・座布団
	調理実習室	24人	720円	コンベック付き調理台・電子レンジ・炊飯器・冷蔵庫・調理器具・食器
	視聴覚室	40人	780円	ピアノ・テレビモニター・DVDデッキ・ホワイトボード・スクリーン・机・椅子
	レクリエーションホール	100人	1450円	卓球台・バドミントン支柱・ネット・音響・更衣室・ホワイトボード・椅子
	人	円		
※利用料金については、令和7年4月1日から変更となりました。				
貸し出し可能備品	(館内のみ) プロジェクター・CDデッキ・延長コード・ホワイトボードマーカー			

令和7年度 公民館等団体別利用状況  
(桜台公民館)

種別	青少年		成人		女性		高齢者		その他		個人		合計	
	月	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数
4	45	564	86	974	4	27	2	14	27	306	3	16	167	1,901
5	33	542	73	851	6	41	2	23	25	458	6	18	145	1,933
6	42	591	81	1,076	4	37	1	7	25	346	6	82	159	2,139
7	41	568	83	732	3	24	1	8	44	726	2	9	174	2,067
8	29	367	80	1,035	3	30	0	0	26	302	9	61	147	1,795
9	33	523	74	736	4	38	2	17	26	361	8	18	147	1,693
10	39	576	83	966	4	25	1	20	28	584	6	140	161	2,311
11	36	542	66	939	4	37	1	6	30	922	2	12	139	2,458
12	27	473	62	691	4	35	1	5	24	457	9	42	127	1,703
1	34	499	62	848	4	25	1	5	21	312	9	58	131	1,747
2	29	463	64	900	4	42	1	6	19	284	6	39	123	1,734
3	30	529	68	845	3	24	1	7	26	1,608	6	34	134	3,047
合計	418	6,237	882	10,593	47	385	14	118	321	6,666	72	529	1,754	24,528
令和6年度・令和5年度それぞれの合計														
R6	466	6372	1055	11373	86	618	13	57	350	6587	116	578	2086	25585
R5	489	6496	1086	12774	36	353	17	107	318	6725	58	436	2004	26891

年間利用率は、小数点第1位まで記入してください。(小数点第2位を四捨五入)

令和7年度部屋別利用件数・利用人数

部屋名	利用件数(件)	利用人数(人)	年間利用率(%)
研修室	515	4,657	32.7
作法室	292	2,755	16.3
調理実習室	25	484	3.5
視聴覚室	217	2,070	13.2
レクホール	705	14,562	50.9
合計	1,754	24,528	
令和6年度・令和5年度それぞれの合計			
令和6年度	2086	25585	
令和5年度	2004	26891	

# 令和7年度桜台公民館 事業報告

## 1 運営方針

### (1) 全体の運営方針

- ・健康に特化した講座
- ・新規サークルのサポート

### (2) 分野別方針

	運営目標
家庭教育 (1)	①多様な環境での子育てを支援し、子育てに対する意識を高める ②同世代の子ども同士、その保護者同士の出会いと交流の場と機会を提供する ③地域健全育成を図り、子育てによる閉塞感を緩和する
青少年教育 (2)	①異年齢、異学区の子ども同士や地域との交流を図り、社会性を養う ②想像力、創意工夫、生きる力をつけるための体験、学習、活動の機会を提供する ③自ら考え行動する青少年を地域で育成する
成人教育 (3)	①体を動かす楽しさを知り、運動機能の低下を防ぐ ②地域に興味を持ち、郷土愛を育てる ③同じ趣味を持つ仲間づくりを支援する ④新しいことにチャレンジする意欲を支援する
団体育成 (4)	①新しく立ち上がったサークルが軌道に乗るよう支援する

### (3) 令和7年度 重点的に実施した項目（講座・事業など）

- ・学ぶ Kids 「さくセン合宿～ナイトウォーク～」
- ・昨年度、講座から立ち上がったサークルのサポート
- ・地域交流イベント「地域イズム 2025」

## 2 桜台公民館講座実施報告

### (1) 学習講座事業

対象	学習講座名	運営目標	回数	参加人数
家庭教育 (1)	0歳児交流広場「いちご組」	①②③	8回	15人
青少年教育 (2)	学ぶKids「さくセン合宿～ナイトウォーク～」	①②③	1回	14人
	学ぶKidsシリーズ ①「アイスクリームをつくろう」 ②「科学教室～食品に隠れているデンプンを探そう!～」 ③「プログラミング～迷子の動物お助け大作戦!～」	①②	3回	のべ45人
	さくらだいクラブ	①②③	2回	のべ22人
	チャレンジタイム企画部	②③	2回	4人
	チャレンジタイムボランティア	①③	1回	0人
成人教育 (3)	大人のチャレンジ「写経体験会 in 延命寺」	③④	1回	7人
	リフレッシュ倶楽部 「初めてでもできるバランスボール体験」	①③④	1回	10人
	大人のアフター7「自宅でできる健康リンパ講座」～肩と首をスッキリ編～	③④	1回	12人
	リフレッシュ倶楽部「ロコモ予防体操」	①③④	1回	17人
	白井歴史散策倶楽部～白井の魅力発見～	②③	2回	7人
	桜台キッチン「手作りで美味しいお正月～伊達巻づくり～」	③④	1回	8人
団体育成 (4)	「スマイルさくら」サポート	①	6回	8人

## (2) 講座以外に行った事業

※参加人数については、人数を把握している（おおよその人数を含む）場合のみ記載

事業名	参加人数
2025年度さくセンフェスタ	1351人
地域交流イベント「地域イズム2025」	449人
桜台センター利用者連絡会（総会）	34団体
さくセンフェスタ実行委員会	17団体
さくセンティーサロン ほっとカフェ	のべ82人
もっとほっとルーム	のべ1人
YSB 桜台・ハートの会場所協力	のべ81人

## (3) 情報の提供

- ・月刊「さくセン通信」発行
- ・月刊「児童館だより」発行
- ・広報しろい掲載
- ・白井市 LINE 掲載
- ・ポスター掲示
- ・チラシ配布

## (4) 施設の提供

- ・貸館業務の充実（当日でも空いていれば利用可能）
- ・市の健診を休館日に行う
- ・窓口業務以外は臨時閉館して期日前投票所として場所を提供
- ・YSB 桜台とハートの会協力（場所提供）

## 3 事業の評価

### (1) 分野別方針

	評価
家庭教育 (1)	サークルの参加人数が減少。0歳1歳2歳3歳のサークルが各々での活動が難しく、融合したサークルとし、そのサポートを行った。 子どもを保育園に預けて働くのが一般的となっていることが背景にある。 通常の利用でも乳幼児の保護者が多様化しており、現在の家庭環境に沿った事業を企画することは簡単ではない。
青少年教育	さくセン合宿～ナイトウォーク～をコロナ以降初めて開催した。今回は、

(2)	桜台小区青少年相談員、桜台公民館、桜台児童館共催及び白井市危機管理課・千葉県防災危機管理部の協力を得て防災をテーマに地域のボランティアの力添えで開催することができた。 しかしながら、夜になっても気温や湿度が高いままであるなど過去の経験から得られた判断基準では予測できないことが多々あり、反省点も多い講座であった。
成人教育 (3)	リフレッシュ倶楽部の「バランスボール」「ロコモ予防」を一般向けの講座として企画したが、参加者のほとんどが高齢者だった。 体を動かす講座のニーズが高いと感じた。
団体育成 (4)	高齢者サークルであるものの、係になった人は、ちば予約システムを駆使して予約をとることができるようになった。またサークル内で固定の人が中心となって運営するのではなく、順番に誰もが活動の中心となって進行することができるようになった。

(2) 令和7年度重点的に実施した項目（講座・事業など）

評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学ぶ Kids 「さくセン合宿～ナイトウォーク～」 コロナ後、再開した久々の事業</li> <li>・地域交流イベント「地域イズム 2025」 地域交流イベントとして、初めて自治連合会桜台小学校区支部と共催</li> <li>・昨年度、講座から立ち上がったサークルのサポート 継続して活動できるようシステムの使用方法や講座の運営、さくセン通信での 会員募集などをサポート</li> </ul>

### 講座・学習プログラム【家庭教育】

講座名	(児童館合同) 0歳児赤ちゃん広場「いちご組」		
対象	市内在住のR6年4月2日～R7年4月1日生まれの子とその保護者		
募集人数	15組	参加人数	15人
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族形態が多様化しその子育ての悩みも多様化している</li> <li>・様々な発達の状態がある中で不安や悩みを抱える保護者が増えている</li> <li>・悩みを気軽に相談できる場が少ない</li> </ul> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子で積極的に触れ合うきっかけを提供していく</li> <li>・保護者が悩みや不安を第三者に共有することで心を軽くしてもらう</li> <li>・保護者同士の情報交換の場にしていく</li> </ul>		
学習期間	R7年5月～R8年2月	学習場所	桜台センター視聴覚室、作法室
回数	8回	講師	児童厚生員、歯科衛生士、保健師、 公民館利用団体の講師金子雅予さん、佐々木優子さん
学習内容	<p>5/8 計測・足型</p> <p>7/11 予連れヨガ</p> <p>10/23 首尾相談</p> <p>12/12 おもちや作り</p> <p>6/12 栄養相談</p> <p>9/12 予連れヨガ</p> <p>11/13 歯科相談</p> <p>2/13 親子ピクニック</p>		
予算	支出総額：30,000円 内訳：講師料 20,000円 その他事業費 10,000円	決算	支出総額：11,138円 内訳：講師料 11,138円 その他事業費 0円
事業参加者への配慮等	参加者負担金：0円		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの体調は変化しやすいため気軽に参加できるような声掛けをする</li> <li>・人には知られたくない保護者のために個別に話すことのできる時間を用意する</li> <li>・保護者同士が交流しやすい雰囲気作りを心掛ける</li> </ul>		
備考	事業の成果（課題や目標に対して）		
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いちご組の活動以外の場においても、親子同士が交流して過ごす様子が見られた</li> <li>・保健師や栄養士など、専門職に相談できる機会があることで、保護者が安心して子育てに向き合えている様子がうかがえた</li> </ul>		

### 講座・学習プログラム【青少年教育】

講座名	(桜台地区青少年相談員共催・千葉県防災危機管理協同) 学ぶ Kids 「さくセン合宿～ナイトウォーク～」		
対象	市内小学4～6年生		
募集人数	15人	参加人数	14人
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個性が優先され協調性を育む意味を見出しにくい環境下にある</li> <li>・地域とのつながりや助け合いを体験する機会が少ない</li> </ul> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長距離を歩き、交通ルールやマナーを守り、皆で完歩をめざす</li> <li>・協力し合って達成する喜びを知る</li> <li>・防災に対する知識を得て、体験し、備える意識を持つ</li> </ul>		
学習期間	令和7年7月	学習場所	研修室・調理実習室・レクホール・館外
回数	1回	講師	県防災危機管理部・市危機管理課・健康課 桜台小中学校区青少年相談員・センター職員
学習内容	県防災危機管理部・市危機管理課協力による防災体験（VR/被災時用パーテーション組み立て/講義）・買い物出しと調理体験（フルーツポンチ/サラダ/カレー）・夜に白井市内を白井総合公園まで探検（青少年相談員・地域ボランティア・学生ボランティア）		
予算	支出総額：40,000円 その他事業費： 青少年相談員予算：20,000円 桜台センター予算：20,000円	決算	支出総額：36,750円 その他事業費 36,750円
事業参加者への配慮等	参加者負担金：1,500円		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災体験では「自分だったらどうする？」を問いかけのテーマにした</li> <li>・調理体験では自主性を育むために大人の関与は最低限の見守りにとどめた</li> <li>・ナイトウォークでは救護班を並走させつつ子ども達の「完歩したい」気持ちに極力寄り添えるようにした</li> </ul>		
備考	事業の成果（課題や目標に対して）		
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初は消極的だった子どもたちも、次第に楽しんで参加するようになっていった</li> <li>・防災体験で「公助」が何であるかを学び助け合いの大切さを感じ文に書いている子がいた</li> <li>・ナイトウォークにて「星がきれいだった」「大変だったけど楽しかった」と普段できない体験に感動する子どもたちの姿が見受けられた</li> </ul>		
備考	参加者負担金：1,500円		
備考	地域ボランティア1人 学生ボランティア2人		

## 講座・学習プログラム【青少年教育】

講座名	(児童館合同) 学ぶ Kids④ 「アイスクリームをつくらう」		
対象	市内小学1～6年生	参加人数	12人
募集人数	12人	参加人数	12人
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食品に対しての興味関心が薄い</li> <li>加工食品の食品表示について知る機会が少ない</li> <li>買うことが多いため身近な物で作ってみるといいう機会が少ない</li> </ul> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アイスクリーム作りを通して様々なことに興味関心を持つ</li> <li>食品表示の見方を知る</li> <li>異学年や他校生と交流を深める</li> </ul>		
学習期間	令和7年8月	学習場所	調理実習室
回数	1回	講師	生活協同組合グループみらい 活動サポーター
学習内容	アイスクリームの原材料を学び、一から手作りアイスクリームを作る。		
予算	支出総額：15,000円 内訳：講師料 10,000円 その他事業費 5,000円	決算	支出総額：2,990円 内訳：講師料 0円 その他事業費 2,990円
	参加者負担金：0円		参加者負担金：0円
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>低学年でもわかりやすいように計量カップに予めテープで印をつけておく</li> <li>子どもは作業がおぼつかないため溢すことを想定して材料を多めに設定する</li> <li>写真やイラストが大きいわかりやすい手順書を用意</li> </ul>		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>低学年の子でもわかりやすく作れたようだった</li> <li>楽しく異学年交流をしながら取り組めたようだった</li> <li>原材料を知れて「ためになった」「おもしろかった」といった声があった</li> <li>工作、お菓子作り、シャーベット作りにも挑戦したいといった声があった</li> </ul>		
備考			

## 講座・学習プログラム【青少年教育】

講座名	(児童館合同) 学ぶ Kids② 【科学教室】 食品に隠れているデンプンを探そう！		
対象	市内小学1～2年生	参加人数	18人
募集人数	20人	参加人数	18人
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>理科に興味関心を持つ子が減少してきている</li> <li>探求意欲があまりない子が多い</li> <li>夏休み期間に学校外で学ぶ場が少ない</li> </ul> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な野菜を使い実験を通して理科への興味関心を高める</li> <li>身近な野菜を使い実験を通して理科への興味関心を高める</li> <li>学校外で観察や実験を通して体験をすることで探求心を養う</li> </ul>		
学習期間	令和7年8月	学習場所	研修室
回数	1回	講師	一般社団法人デイレクトフォース
学習内容	実際に野菜等を使って目には見えないデンプンを探し、デンプンの特徴や見つける方法を学びながら科学の楽しさを体験する。		
予算	支出総額：30,000円 内訳：講師料 10,023円 その他事業費 19,977円	決算	支出総額：12,213円 内訳：講師料 10,023円 その他事業費 2,190円
	参加者負担金：0円		参加者負担金：0円
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>野菜を使用するためアレルギーの確認をする</li> <li>低学年が参加してみたい！と思えるような告知内容を考える</li> <li>保護者にも学ぶ場があることをお知らせする</li> </ul>		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>アレルギーの児童が多い中で安全に実施することができた</li> <li>広報で募集した時点では定員に達しなかったが、声掛けを通して応募者が増加した</li> <li>子ども達が夢中になって実験の経過観察をしている様子が見受けられた</li> </ul>		
備考			

### 講座・学習プログラム【青少年教育】

講座名 (児童館合同) 学ぶ Kids③ 「プログラミング 迷子の動物お助け大作戦！」		
対象 市内小学 3～6 年生	参加人数	19 人
募集人数 20 人		
事業の課題と目標		
課題		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報・AI 系の端末は身近にあるがそれを知識的に活かす場が少ない</li> <li>・夏休み期間に学校外で学ぶ場が少ない</li> <li>・探求意欲があままりない子が多い</li> </ul>		
目標		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだ知識を活かして達成する喜びを体験する</li> <li>・学校外でプログラミングの体験をすることで探求心を養う</li> </ul>		
学習期間 令和 7 年 8 月	学習場所 桜台センター研修室	
回数 1 回	講師 一般社団法人ディレクトフオース	
学習内容 迷子の動物たちが元の場所に戻るようプログラミングを実行し、手順を考えながらミッションを達成する。		
予算 ②と③共通	支出総額：30,000 円 内訳：講師料 10,023 円 その他事業費 19,977 円	支出総額：12,213 円 内訳：講師料 10,023 円 その他事業費 2,190 円
	参加者負担金：0 円	参加者負担金：0 円
事業参加者への配慮等		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各机に講師が 1 人つき子どもの不安感を払拭</li> <li>・協力しあえるように異学年でペアを組み 1 台のタブレットを使用</li> <li>・全員が同じようにタブレットを触れることができるよう声掛けをした</li> </ul>		
事業の成果 (課題や目標に対して)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラミングの「順序」「正確さ」「正確さ」の重要性を学んだ</li> <li>・プログラミングのおもしろさに気づきさらに学びたいという意欲を引き出した</li> </ul>		
備考		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> </ul>		

### 講座・学習プログラム【青少年教育】

講座名 (児童館合同) さくらだいいくらぶ		
対象 市内小学 4～6 年生	参加人数	(1) 14 人 (2) 8 人
募集人数 (1) 15 人 (2) 8 人		
事業の課題と目標		
課題		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個性が優先され協調性を育む意味を見出しにくい環境下にある</li> <li>・地域とのつながりや助け合いを体験する機会が少ない</li> </ul>		
目標		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・長距離を歩き、交通ルールやマナーを守り、皆で完歩をめざす</li> <li>・協力し合って達成する喜びを知る</li> <li>・白井市について興味をもち、学習するきっかけとする</li> </ul>		
学習期間 令和 7 年 (1) 7 月 (2) 11 月	学習場所 ホール (2) 調理実習室	(1) 研修室・調理実習室・レク ホール (2) 調理実習室
回数 2 回	講師 県防災危機管理課・市危機管理課 桜台小中学校区青少年相談員・センター職員	
学習内容 (1) 学ぶ Kids「さくセン合同～ナイトウォーク～」県防災危機管理部・市危機管理課協力による防災体験 (VR/被災時用パナーション組み立て/講義)・買い出しと調理体験 (フルーツポンチ/サラダ/カレー)・夜に白井市内を白井総合公園まで探索 (青少年相談員・地域ボランティア・学生ボランティア) (2) 千葉県北総地域の郷土料理「ばらっばまんじゅう作り」		
予算	支出総額：10,000 円 講師料：5,000 円 その他事業費：5,000 円	支出総額：3,534 円 その他事業費 3,534 円
	参加者負担金：300 円	参加者負担金：300 円
事業参加者への配慮等		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災体験では「自分だったらどうする？」を問いかけてテーマにした</li> <li>・調理体験では自主性を旨むために大人の関与は最低限の見守りにとどめた</li> <li>・ナイトウォークでは教職班を並走させつつ子ども達の「完歩したい」気持ちに駆力寄り添えるようにした</li> <li>・ばらっばまんじゅうのレシピなどを配布し、家庭での活動へと繋がるようにした</li> </ul>		
事業の成果 (課題や目標に対して)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初は消極的だった子どもたちも、次第に楽しんで参加するようになっていた</li> <li>・防災体験で「公助」が何であるかを学び助け合いの大切さを感じ文に書いている子がいた</li> <li>・ナイトウォークにて「星がきれいだった」「大変だったけど楽しかった」と普段できない体験に感動する子どもたちも姿が見受けられた</li> <li>・ばらっばまんじゅうを作るだけでなく、地域の食文化を知るきっかけとなった</li> </ul>		
備考		

## 講座・学習プログラム【青少年教育】

講座名	(児童館合同) チャレンジタイムボランティア		
対象	桜台小4年～6年生		
募集人数	5人	参加人数	4人
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達が主体的に考え、実行していく機会や経験が不足している</li> <li>デジタル機器中心の遊びにより、対面での交流や協力的な遊びの機会が減少している</li> <li>自分の意見を出したり、役割を担ったりすることに苦手意識を持つ子どもが増えている</li> </ul> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達が自ら考え、作り、形にしていく過程を楽しむ</li> <li>児童厚生員や異学年との交流を深める</li> </ul>		
学習期間	令和7年11月～12月	学習場所	中高生ルーム/小学生ルーム
回数	1回	講師	
学習内容	チャレンジタイム「ゴルフをしよう」の運営		
予算	支出総額：5000円 内訳：講師料 0円 その他事業費 0円	決算	支出総額：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 0円
事業参加者への配慮等	参加者負担金：0円 参加者負担金：0円		
事業の成果(課題や目標に対して)	事業参加者への配慮等 <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達の主体性を尊重し、必要に応じて声かけや見守りを行う</li> <li>意見を出すことが苦手な子どもも参加しやすいよう、職員が適切に声かけや仲立ちをする</li> <li>安全面に十分留意し、ルールや進捗を随時確認・共有する</li> </ul> 事業の成果(課題や目標に対して) <ul style="list-style-type: none"> <li>実際に自分たちの企画したゲームをみんなに楽しんでもらえる嬉しさを間近に感じて、喜んでいる様子が伺えた</li> <li>低学年の小学生にも遊びやすいような工夫をその場で考えている様子が伺えた</li> <li>参加者同士で声をかけ合いながら進める場面が見られ、協力して取り組む姿勢が育まれている様子が伺えた</li> <li>自分の役割を意識しながら、主体的に行動する様子が見られた</li> </ul>		
備考			

## 講座・学習プログラム【青少年教育】

講座名	(児童館合同) チャレンジタイム企画部		
対象	桜台小4年～6年生		
募集人数	5人	参加人数	4人
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達が主体的に考え、実行していく機会や経験が不足している</li> <li>デジタル機器中心の遊びにより、対面での交流や協力的な遊びの機会が減少している</li> <li>自分の意見を出したり、役割を担ったりすることに苦手意識を持つ子どもが増えている</li> </ul> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達が自ら考え、作り、形にしていく過程を楽しむ</li> <li>児童厚生員や異学年との交流を深める</li> </ul>		
学習期間	令和7年11月～12月	学習場所	中高生ルーム/小学生ルーム
回数	2回	講師	
学習内容	チャレンジタイム「ゴルフをしよう」の企画		
予算	支出総額：5000円 内訳：講師料 0円 その他事業費 0円	決算	支出総額：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 0円
事業参加者への配慮等	参加者負担金：0円 参加者負担金：0円		
事業の成果(課題や目標に対して)	事業参加者への配慮等 <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達の主体性を尊重し、必要に応じて声かけや見守りを行う</li> <li>意見を出すことが苦手な子どもも参加しやすいよう、職員が適切に声かけや仲立ちをする</li> <li>安全面に十分留意し、ルールや進捗を随時確認・共有する</li> </ul> 事業の成果(課題や目標に対して) <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたち一人ひとりが意見を出し合い、多くの子どもが楽しめるよう協力して、チャレンジタイムの企画・運営に取り組んでいた</li> <li>子どもたちは、ゲームの企画を通して、達成感を感じていた</li> <li>異学年での交流を通して、責任感や協力の意識が芽生えるきっかけとなっていた</li> <li>活動日以外でも話し合いやポスター制作に意欲的に取り組み、主体的に活動していた</li> </ul>		
備考			

### 講座・学習プログラム【成人教育】

講座名	大人のチャレンジ「写経体験会 in 延命寺」		
対象	市民		
募集人数	8人	参加人数	7人
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>延命寺の地域活動を知る機会がない</li> <li>近隣住民だけでなく、市内全土の方に頼ってもらいたいという願いが寺にある</li> <li>禅を経験する機会がない</li> </ul> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住職の法話を聴きお寺や地域とのつながりを学ぶ</li> <li>写経の体験をする</li> <li>禅の心を学ぶ</li> </ul>		
学習期間	令和7年5月	学習場所	真言宗豊山派延命寺
回数	1回	講師	稲葉正秀住職
学習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>早朝に本堂へ集まり住職の話を聴いて心を落ち着ける</li> <li>写経に取り組む</li> <li>お寺の地域活動として毎月第3土曜日に定期開催している旨を伝える</li> </ul>		
予算	支出総額：30,000円 内訳：講師料 0円 その他事業費 30,000円	支出総額：2,895円 内訳：講師料 0円 その他事業費 2,895円	参加者負担金：0円
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>車が必要な立地のため徒歩でも参加できようバスの案内を用意しておく</li> <li>無理なくお寺の地域活動と参加者を繋げるために、お寺の活動案内などを配布する</li> <li>正座の体勢を続けるのが難しい方も多いため座椅子を用意する</li> </ul>		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学6年生の児童から70代の高齢者まで幅広い年齢層が参加した</li> <li>非日常を体験する機会を提供でき共催側の延命寺と参加市民にとっても好評だった</li> <li>「心が落ち着く貴重な時間だった」「集中力が増した」といった声があった</li> </ul>		
備考			

### 講座・学習プログラム【成人教育】

講座名	リフレッシュ倶楽部「初めてでもできるバランスボール体験」		
対象	市民		
募集人数	10人	参加人数	10人
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常で体を動かす機会が少ない</li> <li>体幹筋が衰えている</li> <li>手軽に運動する場が少ない</li> </ul> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>楽しく体を動かして気持ちと体をリフレッシュする</li> <li>体幹を意識し筋トレや基礎代謝への興味関心を高める</li> <li>運動を通してコミュニケーションを図る</li> </ul>		
学習期間	令和7年5月	学習場所	レクリエーションホール
回数	1回	講師	VEGE・GIRLS 飯田潜さん
学習内容	医療用のバランスボールで普段使わない筋肉を積極的に動かす。姿勢改善や筋肉のストレッチを行う。運動を通してコミュニケーションを楽しむ。		
予算	支出総額：30,000円 内訳：講師料 30,000円 その他事業費 0円	支出総額：10,023円 内訳：講師料 10,023円 その他事業費 0円	参加者負担金：0円
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療用のバランスボールの大きさを個人の体格差に合わせて調整する</li> <li>高齢者も参加しやすいように脳の活性化・高血圧改善の予防などの効果を解説する</li> <li>参加者が講座後も運動を公民館などで続けられるような案内をする</li> </ul>		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>50～80代の女性を中心となって参加し脳の活性化を実感したいようだった</li> <li>バランスボールを続けるためのコツを説明し「今後も続けたい」「自分たちで団体を立ち上げサークル活動をしたい」という声があった</li> <li>団体立上げ希望者には今後セクター側でサポートをしていく旨を説明した</li> </ul>		
備考			

### 講座・学習プログラム【成人教育】

講座名	大人のアフター7「自宅でできる健康リンパ講座」～肩と首をスッキリ編～		
対象	市民		
募集人数	12人	参加人数	12人
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康管理を人や病院に頼りきりの人が多い傾向がある</li> <li>体を動かす前の「ケガの予防法」への理解があまりない</li> <li>日々継続的に行う事への重要性を理解する意識が低い</li> </ul> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日々の健康セルフケアへの意識を高める</li> <li>体のリンパの仕組みを知り理解を深める</li> </ul>		
学習期間	令和7年7月	学習場所	視聴覚室
回数	1回	講師	リンパセラピアー 東牧佳子さん
学習内容	リンパの流れを理解し、老廃物を流す方法を学ぶ。 代謝の向上を目指し、自宅でできる健康法を学ぶ。		
予算	支出総額：25,000円 内訳：講師料 25,000円 その他事業費 0円	決算	支出総額：10,023円 内訳：講師料 10,023円 その他事業費 0円
	参加者負担金：0円		参加者負担金：0円
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>帰宅後セルフケアができるよう実践重視で行う</li> <li>各個人にあわせてアドバイスが可能なような時間配分</li> <li>参加者の安全のため夜19時開始の講座は明るい時期に設定</li> </ul>		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>講師の話術で、講義と体験をスムーズに行っていた</li> <li>脳トレや口の体操も取り入れ、家でも手軽にできるものも学ぶことができた</li> <li>簡単な動きでも体の中から熱くなり、80代の参加者もついていていた</li> </ul>		
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>		

### 講座・学習プログラム【成人教育】

講座名	リフレッシュ倶楽部「ロコモ予防体操」		
対象	市民		
募集人数	20人	参加人数	17人
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常で体を動かす機会が少ない</li> <li>体幹筋が衰えている</li> </ul> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>楽しく体を動かして気持ちと体をリフレッシュする</li> <li>体幹を意識し筋トレや基礎代謝への興味関心を高める</li> <li>運動を通してコミュニケーションを図る</li> </ul>		
学習期間	令和7年10月	学習場所	レクリエーションホール
回数	1回	講師	VEGE・GIRLS 飯田渚さん
学習内容	ロコモティブシンドロームになる原因を講義で理解する その予防としてちよつとした運動で解消することを学ぶ 簡単な体操で、下半身の機能強化を図る		
予算	支出総額：25,000円 内訳：講師料 25,000円 その他事業費 0円	決算	支出総額：10,023円 内訳：講師料 10,023円 その他事業費 0円
	参加者負担金：0円		参加者負担金：0円
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>怪我のないように見守りをする</li> <li>家でも継続できる簡単な運動をメインとした内容にする</li> </ul>		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>講師の話術で、講義と体験をスムーズに行っていた</li> <li>脳トレや口の体操も取り入れ、家でも手軽にできるものも学ぶことができた</li> <li>簡単な動きでも体の中から熱くなり、80代の参加者もついていていた</li> </ul>		
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>		

### 講座・学習プログラム【成人教育】

講座名	白井歴史散策倶楽部～白井の魅力発見～		
対象	市民		
募集人数	10人	参加人数	7人
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・白井在住であっても白井について知らないことが多い</li> <li>・地域を知らなければ郷土愛を育むことは難しい</li> </ul> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・白井の歴史や文化財、地域の特性などを知る</li> <li>・散策しながら実際に地域の魅力を肌で感じる</li> <li>・同じ趣味を持つ人同士の交流を図る</li> </ul>		
学習期間	令和7年12月	学習場所	視聴覚室・館外
回数	2回	講師	市学芸員戸谷敦司さん
学習内容	<p>1回目 白井市の歴史・文化財などについて学芸員から講義を受ける。</p> <p>2回目 しろい文化財散策マップのコースを中心に竜神伝説を巡る。</p>		
予算	<p>支出総額：10,000円 内訳：講師料 0円 その他事業費 10,000円</p>	<p>決算</p> <p>支出総額：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 0円</p>	<p>参加者負担金：0円</p>
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の体調面を考慮した散策コースを調整し決定する</li> <li>・船橋カントリークラブへの事前の交渉と利用上の注意事項を参加者へ伝える</li> </ul>		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長年住んでいないが知らないことが多くて勉強になり楽しかったといった桜台の参加者がいた</li> <li>・アンケートでは「住んでいる地域に愛着が持てた」といった声があった</li> <li>・参加者同士で励まし合いながら散策をする姿が見受けられた</li> </ul>		
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後から講座の事を知らなかったという市民が多かったため、広報の他に周知の方法を考える</li> </ul>		

### 講座・学習プログラム【成人教育】

講座名	桜台キッチン「手作り」で美味しいお正月～オープンで作る伊達巻き～		
対象	市民		
募集人数	8人	参加人数	8人
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市販のものは添加物が入っていることが多い</li> <li>・おせちを自分で作る人が減った</li> </ul> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回作った伊達巻をおせちの一品として自分で再現できるようにする</li> <li>・作った伊達巻を試食しながらおしゃべりサロンで交流を図る</li> </ul>		
学習期間	令和7年12月	学習場所	調理実習室
回数	1回	講師	センター職員
学習内容	<p>手軽な材料で、甘さ控えめな伊達巻を参加者各自1本作製する。</p> <p>試食しながら、各自のお正月について話しながら交流する</p>		
予算	<p>支出総額：5,000円 内訳：講師料 0円 その他事業費 5,000円</p>	<p>決算</p> <p>支出総額：6,936円 内訳：講師料 0円 その他事業費 6,936円 (試作分を含む)</p>	<p>参加者負担金：1000円</p> <p>参加者負担金：1000円</p>
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で再現できるような簡単なレシピを用意する</li> <li>・おしゃべり交流がしやすいよう飲み物を用意する</li> </ul>		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・混ぜてオープンで焼くという簡単なレシピだったので、各自家で作る自信が持てたようだ</li> <li>・時間に余裕を持たせたので様々な質問を参加者は多くの気づきを得たようだ</li> <li>・試食では各家のお雑煮について話すなど、楽しい時間を過ごすことができたようだ</li> </ul>		
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試食では各家のお雑煮について話すなど、楽しい時間を過ごすことができたようだ</li> </ul>		

### 講座・学習プログラム【団体育成】

講座名	スマイルさくら サポート		
対象	昨年の講座から立ち上がったサークル「スマイルさくら」		
募集人数	現時点で1人でも多く	参加人数	8人
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム予約が苦手</li> <li>・会員を増やしたい</li> </ul> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・苦手意識なくシステム予約をする</li> <li>・1人でも多く会員を増やす</li> </ul>		
学習期間	令和7年4月～9月	学習場所	研修室
回数	6回	講師	センタースタッフがサポート
学習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サークルの活動は高齢者向け脳トレと軽い体操とおしゃべり交流</li> <li>・サークルの運営について助言する</li> <li>・ちば予約システムの使用方法、予約の説明、さくセン通信に会員募集記事を掲載し、会員数を増やす</li> </ul>		
予算	支出総額：0円	決算	支出総額：0円
	内訳：講師料 0円 その他事業費 0円		内訳：講師料 0円 その他事業費 0円
	参加者負担金：0円		参加者負担金：0円
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何度でも質問に答える</li> <li>・同じ質問を何度でも質問しやすいような関係作り</li> </ul>		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム予約をする係の人が、苦手意識なく予約できるようになった</li> <li>・毎回の活動に体む人も少なく、継続して活動できるような見通しが立っている</li> </ul>		
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望があれば何度でもさくセン通信にて会員募集を行う</li> </ul>		

### 事業活動

事業名	2025年度桜台センターフェスティバル「さくセンフェスタ」		
対象	一般		
参加人数	来場者 1,351人	参加団体	22団体
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加団体が減少している</li> <li>・混雑状況に波があり発表の時間が押してしまう</li> <li>・実行委員会の自主的な運営が不足している</li> </ul> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表や出し物などをせずとも、運営ボランティアとしてフェスタに参加する団体を増やしていく</li> <li>・事故などのない活気あるイベントにする</li> </ul>		
期間	令和8年3月	回数	1回
場所	桜台センター全館・駐車場		
事業内容	<p>展示・発表・体験・販売・販売・児童館コーナー</p> <p>桜台センター利用団体・自治会・桜台中学校学区地域団体の発表の場とする</p>		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・混雑が予想されるイベントの対象を区切るなどして分散開催を実施</li> <li>・参加団体同士の話し合いにより、発表時間や係決めを実行委員会主導で行うよう促す</li> <li>・当日配布するプログラムで各団体のPRや会員募集を行うよう促す</li> </ul>		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェスタに出し物をするだけでなく、運営ボランティアとして参加ができることを説明して呼び掛けたところ、はじめて参加する団体が増えた</li> <li>・昨年度、カフェの集客がとでも少なかったため、予めボスターやお知らせを作成するよう団体に呼びかけており、それが集客に繋がっていったようだった</li> <li>・昨年度は発表団体の入れ替えて混雑してしまい時間が押したり人の流れが遅られてしまったりしたため、今年は一時的な待機場所を作ってスムーズな人の入れ替えを実現できた</li> </ul>		
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事情により参加が厳しい団体にも来年度には参加意欲を確認できた</li> <li>・次回は各団体の活動報告をより充実させるようにすれば団体育成に繋がっていくだろう</li> </ul>		

## 事業活動

事業名	地域交流イベント「地域イズム 2025」		
対象	一般		
参加人数	来場者 449 人		
事業の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域団体が住民が活動や発表する場所が桜台地区には少ない</li> <li>・地域間でのコミュニケーションを深める機会が少ない</li> <li>・地域団体や住民が活動や発表する場所を提供する</li> <li>・地域間でのコミュニケーションを深めるきっかけにする</li> </ul>		
期間	令和 7 年 11 月	回数	1 回
場所	全館		
事業内容	世界のカードゲーム・ボードゲームで遊ぼう、自治会による防犯講座とアロハミュージック、マルシェ（焼き菓子や駄菓子など）、キッチンカー販売、桜台小学校の親御さんによる読み聞かせ、児童書と玩具の譲渡会、景品あり！ビンゴ大会ほか		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・譲渡品を選びやすいように陳列方法を工夫する</li> <li>・各催し物への導線を考えて案内や看板の掲示を行う</li> <li>・異学年交流や地域交流ができるよう告知範囲を広げる</li> <li>・開催中に各団体のサポーターができればよいようにスタッフの配置を考える</li> </ul>		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめで自治連合会との共催となり開催内容に幅が持った</li> <li>・譲渡会が一番の人気コーナーとなり午前中には譲渡品のほとんどが捌けていた</li> <li>・館内放送と併せて案内掲示を充実させたため人が滞留してしまいう混雑がなかった</li> <li>・しろい de あそぶのカードゲーム・ボードゲームでは親子や異学年交流が盛んだった</li> <li>・参加団体の昼食時や乗客が少ない場所への誘導がうまくできた</li> <li>・当日は印西の産葉まつりと重なり来館者数がやや落ち着いていた</li> <li>・イベント後、地域の参加団体に「地域イズムで知った、自分も参加したい」と申し出があり団体活性化に繋がった</li> </ul>		
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> </ul>		

## 事業活動

事業名	桜台センター利用者連絡会（総会）		
対象	桜台センターを利用しているサークル 43 団体		
参加人数	34 団体（委任状 21 団体を含む）		
事業の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センター利用のルールについて団体毎に認識の差がある</li> <li>・原状復帰についてできていない団体が散見される</li> <li>・さくセンフェスタや地域イズムの開催内容について課題がある</li> <li>・センターの利用状況について各団体に把握してもらおう</li> <li>・利用団体とより利用しやすいルールの見直しを行う</li> <li>・イベントの開催における問題点を考える機会にする</li> </ul>		
期間	令和 7 年 5 月	回数	1 回
場所	研修室		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 7 年度役員選出</li> <li>・令和 6 年度事業報告</li> <li>・さくセンフェスタ開催の可否</li> <li>・センターの利用についての取り決め見直し</li> </ul>		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総会の日程を利用される各部屋に掲示する</li> <li>・窓口で手渡しや声掛けで参加を促していく</li> <li>・メールや郵送など団体によって周知方法を決定する</li> </ul>		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例年より多くの団体が出席した</li> <li>・センター利用について新ルールの提案が多数あった</li> <li>・イベント運営におけるボランティアやお手伝いの不足を解消するための呼びかけがあった</li> <li>・イベント開催時の課題について参加団体より様々な意見交換があった</li> <li>・たぐさんの提案があったため報告書と要約した報告のポスターを各部屋に掲示して目につくようにする</li> <li>・地域交流イベント「地域イズム 2025」の開催について「続けて開催してほしい」という意見があった</li> </ul>		
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> </ul>		

## 事業活動

事業名	さくセンフェスタ実行委員会		
対象	さくセンフェスタに参加する団体		
参加人数	17 団体 (欠席 2 団体)		
事業の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営に必要な最低限のお手伝いの枠が埋まらない</li> <li>参加団体が減少し、施設を埋めることが難しい</li> </ul>		
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>団体の正確な参加人数と開催規模感の調整</li> <li>係決めをスムーズにできるよう各参加団体の状況を聞きながら進行する</li> </ul>		
期間	令和 7 年 5 月～令和 8 年 3 月	回数	3 回
場所	研修室		
事業内容	<p>さくセンフェスタの実施日と準備日の運営要項について話し合う。 さくセンフェスタの準備と当日の運営、撤去までを担う。</p>		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>混雑を避けるための導線や発表団体のスケジュールがスムーズになるように資料を用意する</li> <li>申請内容と実施内容に齟齬がないかの確認を行っていく</li> <li>係決めの状況表をあらかじめ用意して全体に共有しやすくする</li> </ul>		
事業の成果 (課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各団体が例年以上にお手伝いに参加表明し、自分たちで作り上げるイベントだという自覚が持てたようだった</li> </ul>		
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul>		

## 事業活動

事業名	さくセンティーサロン「ほっとカフェ」		
対象	一般		
参加人数	延べ 82 人		
事業の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の人同士で気軽に交流する機会や場が減少している</li> <li>センターは気軽に誰でも立ち寄れる場という認識が限られている</li> </ul>		
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域交流の場を提供する</li> <li>団体のサークル活動においての親睦を深める場の提供</li> <li>気軽に立ち寄れる市民の憩いの場を作る</li> </ul>		
期間	令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月 (7、8 月除く)	回数	10 回
場所	市民ホール、団体の活動部屋		
事業内容	<p>1 杯 100 円の紅茶・コーヒーと小さな焼き菓子の提供を通して、気軽に市民が立ち寄れる憩いの場や、団体内の親睦の機会を作る。</p>		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な市民や団体が参加しやすいように曜日を固定せず日程を組む</li> <li>次回の開催日を来館したその場で確認できるように玄関口へ大きく掲示する</li> <li>当日の来館者に気付いてもらいやすいように、事務所の入り口付近にコーヒーマシンの陳列をする</li> </ul>		
事業の成果 (課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度は固定の曜日が多かったため参加できなかつたが「今年度は利用ができて嬉しい」「また次回も利用したい」といった声があった</li> <li>サークル内でのコミュニケーションは講師が中心だったが「カフェを通してメンバー同士の親睦が深められた」といった声があった</li> <li>地域の交流の場・憩いの場として周知ができた</li> </ul>		
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul>		

## 事業活動

事業名	もっとほっとルーム（年間登録制・児童館合同）		
対象	市内在住・在学の中学生から18歳未満の子ども（年間登録制）		
参加人数	延べ1人		
事業の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後の子ども達の健全な居場所が近隣では減少している</li> <li>・家庭の事情などによっては自宅で勉強がしづらい子がいる</li> <li>・家庭以外の居場所を求めている子がいる</li> <li>・学習面や精神面などの悩みを抱える中高生が気軽に集える場所を目指す</li> </ul>		
期間	令和7年4月～令和8年3月（夏休み期間除く）	回数	39回
場所	中高生ルーム・小学生ルーム・市民ホール		
事業内容	第1～4（金）、17～19時、開館時間を延長して居場所とする （第1は数学のアドバイザーが在席、第4はYSB桜台との交流ができる）		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加しやすいような雰囲気づくりを心掛ける</li> <li>・普段から子ども達への声掛けを行っていく</li> </ul>		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登録者数は1名であり、その子の参加もほとんどなかった</li> <li>・ここ数年の参加者はほとんどいなく、この地域においてのニーズがないと考えられる</li> </ul>		
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度は開催しない</li> </ul>		